京都府手話サークル連絡会
定期総会

■２０１９年度活動報告
■２０２０年度活動方針案
■２０１９年度一般会計決算書
■２０１９年度特別会計決算書
■２０２０年度一般会計予算書（案）
■２０２０年度特別会計予算書（案）

■２０１９年度活動報告
１　私たちを取り巻く動き　……　２
２　京手連の動き　……　３
（１）機関紙　……　３
（２）近畿三団体　……　３
（３）京都府障害者施策推進協議会
聞こえの共生社会推進部会　…　４
（４）Ｕ３５三団体会議　……　５
（５）京手連　若者連絡会　……　５
（６）全国手話検定試験　……　６
（７）手話フェスティバル　……　７
（８）参政権保障委員会　……　７
（９）府ネット　……　７
（１０）「手話言語条例」制定推進委員会
……　８
（１１）府聴障協福祉労働対策部会議　９
（１２）京都ろうあニュース　……　９
（１３）法人後援会　……　９
（１４）Ｆ・Ｋ・Ｄ１４チーム　…　９
（１５）手話まつり　……１０
（１６）さがの映像祭　……１０
（１７）鴨川納涼祭　……１１
（１８）全国ろうあ女性集会　……１１
（１９）近畿ろうあ者大会　……１２
（２０）ろう教育近畿フォーラム……１２
（２１）地域の活動状況
①北部ブロック　……１３
②口丹ブロック　……１４
③乙訓ブロック　……１５
④京都市内ブロック昼　……１６
〃　夜　……１８
⑤山城ブロック　……１９
■２０１９年度活動日誌　……２０
■２０２０年度活動方針案　……２５
■決算、予算関係
〇２０１９年度一般会計決算書　…２６
〇２０１９年度特別会計決算書　…２７
〇会計監査報告　…２８
〇２０２０年度一般会計予算（案）２９
〇２０２０年度特別会計予算（案）３０
■役員体制　…３１
■京都府手話サークル連絡会規約　…３２

レインボーまつり

京都ろうあ者大会

手話サークル交流会

手話サークルまつり

■２０１９年 度 活 動 報 告

１　私たちを取り巻く動き

全国的には、今期もさまざまな災害など生命や身体、財産を脅かされる出来事が続きました。

- ８月２６日から２９日、九州北部付近に停滞した秋雨前線により猛烈な雨。
- ８月１５日、台風 10 号は愛媛県から広島県に上陸しお盆の日本列島を直撃。
- ９月の台風１５号は、千葉県に上陸し想像を超える暴風で大規模な停電。
- １０月の猛烈な台風１９号は、近畿にも暴風雨をもたらし史上最多の１３都県に大雨特別警報が発表。手話検定試験も中止の会場が相次ぎました。
- １０月２５日、低気圧と台風２１号の影響で千葉・福島で記録的大雨。
- １２月に発生した新型コロナウイルス感染症は、指定感染症となり集会や行事、イベントなどの中止が広がり、学校休校は全国で実施。

京都や近畿は、今期は近年の中では大規模な被害は少ないようでしたが、自然災害の様相は変化してきており、各地では多くの財産や生命が失われました。被災された皆さんには、心からお見舞い申し上げます。

以前の大規模災害と比べて、聴覚障害者の情報格差の問題はクローズアップされる機会は少なくなりました。これまでの数々の教訓が活かされ、手話言語条例の広がりとともに、理解が広まっているものと思います。

しかしながら、情報保障が本当に適切にされているかどうかは、日々検証しなければなりませんし、文章の苦手な方など身近な聴覚障害者は、依然として不安を持っておられるのは事実です。

また、今、全世界を脅かしている新型コロナウイルス感染症が、広がり始めた初期に、韓国など外国の記者会見では説明者の背後に、普通に手話通訳がいるのを見て、日本とは違うなあと思ったのは、皆さんも同じではないでしょうか。その後当事者団体などの強い働き掛けもあり、府県レベルの記者会見でも手話通訳が付くことが増えましたが、そのほかの場面では、大切な報道であるにもかかわらず情報保障に疑問があるものはまだまだあります。

今期は、令和と共にスタートしました。「平成」の手話の確定は随分経ってからでしたが、今回は新年号発表の翌日には手話表現が確定。一般報道でも必ず紹介されました。今ＮＨＫで放映中の大河ドラマ、麒麟がくる。その手話表現を福知山の関係の皆さんが１月に決め、各ニュースでも紹介。京都新聞のホームページで動画でも見られるようになっています。

手話言語条例は、京都府内で１０市町で、今期の新規はありませんでしたが、各地域で検討が進められています。全国的には、２７道府県、２７４市区町村で成立しています。

条例をきっかけに、市町役所の中で気運の盛り上げやさまざまな啓発事業、学習資材の制作、地域の団体等での講習会の開催などの取り組みが、地域の手話サークルも関わりながら進められています。条例を”武器”にして、地域の状況や

障害者の暮らしに合った取り組みを、共に考え続けることが大事です。

２　京手連の動き

今期も府ネットワーク委員会など、多くの委員会等に委員を派遣し、府レベルの聴覚障害者福祉の向上に、関係団体とともに一端を担ってきました。

また、京都ろうあ者大会や手話まつりなど例年の行事に加え、第２４回京都聴覚障害者女性フォーラムへの要員派遣、電話リレーサービスについての学びを深めるなど、さまざまな形で協力しました。

（１）機関紙

今期の機関紙の発行は、

○第９６号（２０１９年６月）

特　集　定期総会記念講演「手話サークルと共に歩む」

その他　法人後援会総会、役員体制、レインボーまつり企画～身近な防災～、交流会「春を楽しもう」～京都市右京区～、サークル紹介相楽手話サークルたけのこ、活動日誌

○第９７号（２０１９年１１月）

特　集　つながろうよ～京都市内ブロック手話サークル交流の取り組み

その他　第 69 回近畿ろうあ者大会、サークル紹介宇治手話サークル太陽、活動日誌

○第９８号（２０２０年３月）

特　集　ＩＴ技術とコミュニケーション支援/綾部市/向日市/聴言法人

その他　サークル紹介亀岡手話サークル「年輪の会」、サークル紹介城陽市手話サークルめだか、活動日誌、京都市内サークル交流会、手話フェスティバル

以上、３回発行しました。

京手連や他サークルの活動を紹介し、情報共有するために、機関紙は重要な役割を担っていると思いますが、大事な情報をすべて紹介し切れているとは言えません。

加盟サークルの皆さんのお力がぜひ必要です。今後もご協力をいただき、サークル紹介等も充実させ、京手連の横のつながりを深める機関紙を作っていきたいと思います。

（２）近畿三団体（近畿ろうあ連盟、近畿手話通訳問題研究会、近畿手話サークル連絡会）

今期は「近畿三団体会議」と「近畿手話サークル連絡会役員会議」を下記のと

おり開催しました。

○５月１１日（土）　近畿手話サークル連絡会役員会議（大阪谷町福祉センター）
　　内容：各府県の状況報告と意見交換（滋賀県の加盟団体が減っているなど）
○同日同会場　　近畿三団体会議
　　内容：けいわんフォーラム、近通研、近畿手話サークルフォーラムについて
○６月８日（土）　　近畿手話サークル連絡会総会（大阪社会福祉指導センター）
○７月６日（土）　　近畿手話サークル連絡会役員会議（大阪谷町福祉センター）
　　内容：近畿手話サークルフォーラムの進捗状況などについて
　　各府県の状況報告と意見交換
○１１月３日（日）　近畿三団体会議　　（ひと・まち交流館京都）
　　内容：近畿手話通訳問題研究討論集会、近畿手話サークルフォーラムの進捗状況
　　次年度の会議予定など

今期の特徴など
・近畿手話通訳問題研究討論集会（１２月１４～１５日　滋賀県）には、京都から司会者の協力をしました。
・１１月３日（日）第２５回けいわんフォーラムを京都（ひと・まち交流館京都）で開催しました。
　　内容：森川美恵子氏（愛媛県手話通訳問題研究会会長）の講演とハワイアンヨガ
　　参加人数：７８人
　※京手連から実行委員２人、当日の要員４人が協力しました。
・近畿手話サークルフォーラム（３月２９日　兵庫県神戸市）が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催中止になりました。終了後に開催予定の近畿三団体会議も中止になっています。

（３）京都府障害者施策推進協議会聞こえの共生社会推進部会

京都府の「言語としての手話の普及を進めるとともに聞こえに障害のある人とない人とが支え合う社会づくり条例」に定める事項として、高田英一座長のもと「聞こえの共生推進部会」が設置され、京手連からも委員委嘱を受けて参画しています。（任期２年。現在の任期は２０２０年６月まで）

今期は第１回部会が９月４日に開催され、「聞こえのサポーター養成事業」等の取り組み状況の報告と、第４期京都府障害者基本計画の策定についての説明がありました。

各委員からは、課題とそれに対する取り組みの提案が多く出されました。
例えば、
・府全域の手話通訳者等懇談会を継続的に開催して欲しい。
・府条例と府施策（他課所管分）がうまくつながっていないように思われる。
・府条例制定の成果として、情報や制度等の効果的な利用につながるような懇談の場を設けて欲しい。

・次期計画には、府民や学校の先生に対して、どのように聞こえの共生社会推進の取り組みをしていくかを記載してもらいたい。
・府条例ができたことで市町村では条例はいらないのではないかという声もあるようだが双方に条例ができることでさらに取り組みが広がることに繋がる。府も支援を。
・府職員５００人が手話研修を受けたと報告があったが、そのうち何人が窓口対応可能なスキルを身につけたかが重要。次期計画には「窓口対応可能職員を〇〇人配置する。」など具体的な数値目標を盛り込めば大きく前進するのではないか

そのほか、災害時の対応等さまざまな意見が出され、事務局からは「各団体とも意見交換をしながらどのようなことができるかを考えて行きたい」と回答されました。

（４）Ｕ３５三団体会議

京都府聴覚障害者協会青年部、京都手話通訳問題研究会Ｎ－Ａｃｔｉｏｎ、京都府手話サークル連絡会若者連絡会の３団体で情報交換や繋がりを持つために行事の企画などを行っています。

今期、定期的に実施していた会議は行わず、各団体から協議事項が提案された時に会議の場を設ける形に変更になりました。

〇企　画

①Ｕ３５三団体交流企画　「ビアガーデン」
日時：８月２３日（金）１９：００～、場所：京都タワーホテル

②Ｕ３５三団体交流企画　「忘年会」
日時：１２月２０日（金）１９：００～
場所：ＣＲＡＦＴＢＥＥＲ＆ＰＩＺＺＡ　１００Ｋ

（５）京手連　若者連絡会

横の繋がりを目的に、地域の所属サークルでの活動を基盤にしながら３ヶ月に１回、４０歳以下のメンバーで集まり情報交換などをしています。他にもメーリングリストを活用して行事の案内を共有しています。

昨期に引き続き、今期は下記の日程で集まりました。

各サークルで４０歳以下の会員さんがおられたら、ぜひ繋いでいただければ幸いです。地域ブロック長または、drkgj301@yahoo.co.jp（仲松）までご連絡ください。

○日　程（回数は通算です）

・第 ８ 回　　６月３日（月）１９：３０～、長岡京市内喫茶店
・第 ９ 回　　９月９日（月）１９：３０～、長岡京市内喫茶店
・第１０回　１２月２日（月）１９：３０～、京都市内喫茶店
・第１１回　　３月４日（月）１９：３０～、亀岡市内喫茶店
（第１１回は新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して中止としました）

（６）全国手話検定試験

１４回目となる全国手話検定試験会場は全国手話研修センターで５級～１級、再試験５級、４級を実施しました。

年度当初、京都府聴覚障害者協会、京都手話通訳問題研究会、京都府手話サークル連絡会、法人とともに、手話検定京都地域委員会を立ち上げ協議を重ね、関連事業として、学習セミナーと面接研修も実施しました。

昨期は団体受験５２人と５級～１級の申込み３６７人。今期は団体受験１０４人と５級～１級の申込み２５４人と再試験２０１人を合わせて５３９人でした。

・　７月２１日　　登録のための面接委員研修　３級～１級（２１人）
　　会場：京都市聴言センター
・　７月２６日　　団体受験　５級（５８人）
　　会場：京都栄養医療専門学校
・　７月２６日　　団体受験　４級（１２人）
　　会場：龍谷大学
・　９月１６日　　学習セミナー　３級（３６人）、２級（２５人）
　　会場：京都市聴言センター
・　１０月１２日　第１４回全国手話検定試験　　５級(49 人)、４級(37 人)
　　１３日　　〃　　３級(54 人)、２級(64 人)
　　１９日　　〃　　準１級(25 人)、１級(25 人)
　　会場：全国手話研修センター
・　２月１３日　　団体受験　３級（１８人）、２級（８人）
　　会場：いこいの村
・　２月１６日　　第１４回全国手話検定試験再試験5級（81人）、4級（120人）
　　会場：全国手話研修センター
　　※再試験：１０月１２日、台風１９号接近で検定中止の
　　滋賀、大阪、兵庫、和歌山の受験者対象
・　３月７日　　団体受験　２級（８人）
　　会場：龍谷大学

（７）第１５回手話フェスティバル

○日　　時　　１月１９日（日）１３：００～１７：００
○場　　所　　京都新聞文化ホール
○出場者数　　一般の部１１人、子供の部６３人
○審査結果（一般の部）
　最優秀賞　　藤江美樹さん（宇治市）「何が困りますか」
　優秀賞　　稲葉結さん（宇治市）「コミュニケーションについて」
　国際ソロプチミスト京都－弥生賞　　武田みどりさん（京都市上京区）
　　「二条城北小学校ＰＴＡ手話サークルについて」
　京都新聞社会福祉事業団賞　　中村学さん（城陽市）「手話は生きる道」
○来場者　　約３５０人
○アトラクション　奈良県立聾学校演劇部
○要　員　　京手連から実行委員として３人が担当。京都市内手話サークルから２人（照明係）が協力

今回第１５回企画として、日常会話等が学べる手話体験ブース、１１の手話言語条例制定地域の取り組みを紹介するブースを設けました。京都府内で条例が制定されている自治体と連絡を取り合い、関係資料の提供いただきました。

（８）参政権保障委員会

今期は、７月に参議院選挙が行われ、委員会は６月１７日（月）と８月１９日（月）に開催されました。

６月の会議では選挙に向け、まず公職選挙法の改正（２０１８年６月改正。２０１９年から実施）の説明。これまで地域毎に会場を確保し、聴障者・難聴者などが集まり行われていたものが、”持ち込みビデオ方式”（選挙区の候補者自らが持ち込む）となり、画面に手話通訳・字幕が付けられるようになりました。が、結果、候補者のすべての党で実現したというわけにはいきませんでした。

８月の反省会では、様々な課題が浮き彫りになりましたが、聴障者・難聴者からは「家にいながらにしてみることができた。」「まだまだな点もあるが一歩前進！」等の感想がありました。

（９）京都聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築くネットワーク（略称：府ネット）

「京都聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築くネットワーク」は１９９８年２月に結成されました。聴覚言語障害者の権利を守り、聴覚言語障害者がコミュニケーションの面において、障壁が生まれない社会を目指して運動を進めています。「京都聴覚言語障害総合センター建設委員会」（１９７３年結成）を前身とする広範な聴覚言語障害者の関係団体で組織した団体です。

継続的な運動の拠点として、日常的に聴覚言語障害者問題を明らかにしつつ、その問題を検討し、運動に取り組んでいます。次の１６団体の代表者で組織し、京手連は京通研とともに事務局を担当しています。

（構成団体）

一般社団法人京都府聴覚障害者協会、京都府難聴者協会、NPO 法人京都市中途失聴・難聴者協会、京都盲ろう者ほほえみの会、京都言友会、京都府手話サークル連絡会、京都府要約筆記サークル連絡会、京都手話通訳問題研究会、京都府立ろう学校 PTA、京都府立高等学校教職員組合ろう学校分会、全国福祉保育労働組合京都地方本部聴言分会、京都聴覚障害者の豊かな暮らしを築く北部ネットワーク委員会、口丹聴覚言語障害者ネットワーク委員会、聴覚言語障害者の豊かな暮しを築く京都市ネットワーク、聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築く乙訓ネットワーク委員会、聴覚言語障害者の豊かな暮しを築く山城ネットワーク委員会

今期の活動は、下記のとおりです。

〇会　議

本会議：奇数月の第４金曜日

事務局会議：毎月第３金曜日（８月は休み。１２月は第２金曜日）

いずれも　１９：００～、京都市聴言センター。

〇今期の特色

・　「レインボーカンパ」の贈呈式を１０月２０日（日）いこいの村まつりで行いました。

　最終１４，０１６，０１５円と１，５００万円には届きませんでしたが、１１月３０日（土）で受付を終了し、１２月１日以降は、「法人」への寄付のみになります。皆さまご協力ありがとうございました。

・　昨期から「災害対策委員会」を立ち上げ、各ネットや関係団体の取り組みについて情報交換しています。

　第３回災害対策委員会（１０月２５日、京都市センター）では、先進的に行っている地域の状況を聞き、各ネットでの現状や課題に対するアンケート調査を行いました

　３月の第４回委員会でアンケートを取りまとめ、今後の方針等を相談する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のために委員会が中止になりました。

　今期は情報交換が出来ませんでした。次期も継続して開催する予定です。

・　府ネットの情報メールについて

　今まで使っていたフリーメールが２０１９年１２月から使えなくなり、グーグルグループのＭＬに代わりました。

（１０）「手話言語条例」制定推進委員会

今期は、会議は開かれませんでした。

（１１）京都府聴覚障害者協会福祉労働対策部会議

京都府聴覚障害者協会、京都障害者職業相談室手話協力員、京都府立聾学校、京都市聴覚言語障害センタージョブコーチ、京都手話通訳問題研究会、京都府手話サークル連絡会で、聴覚障害を取り巻く福祉や労働環境について協議等をしています。

今期は、集まりはありませんでした。

（１２）京都ろうあニュースへの協力

一般社団法人京都府聴覚障害者協会の機関紙「京都ろうあニュース」のコラムに協力し、今期は７回、京手連や加盟サークルのさまざまな取り組みを紹介しました。

〇2019 年４月号　　これまでの歩みに感謝「手話サークルあすなろ'82」
〇2019 年６月号　　「ろうかるた」を開催
〇2019 年７月号　　京手連定期総会を開催
〇2019 年９月号　　京都市内「手話サークル交流会」
〇2019 年 11 月号　　防災を楽しく学習しました（相楽）
〇2020 年１月号　　京都市内手話サークルまつり
〇2020 年３月号　　ちょっと珍しい？取り組み　手話サークルサンシャイン

（１３）法人後援会（京都聴覚言語障害者福祉協会後援会）

今期も法人後援会の大きな課題は、会員拡大でした。目標を１４００人に設定し、構成団体を通じて拡大の取り組みを進めるとともに、関係団体の行事の機会を利用してＰＲも展開しました。最終的には１１６１人で昨年度から８４人の減少となりました。後援会幹事一同、がんばっているものの、高齢化や価値観の多様化などで仕方ないのかもしれませんが、心が痛みます。

幹事会では、法人から、地域や関係団体と連携した行事の様子や運営課題などを学ぶとともに、会員拡大の情報交換、自主企画事業や会の運営についての協議が行われました。

後援会の会費の多くは法人への独自取り組みの拡充に使っていただいています。

（主な活動）
〇総会、学習会、レインボーまつり　　６月２日（日）京都市聴言センター
〇いこいの村まつりバスツアー　　１０月２０日（日）

（１４）Ｆ・Ｋ・Ｄ１４チーム（略称：Ｆチーム）

２０１１年に京都で開催された「全国ろうあ者大会」は皆さんご存知のとおり、

５，０００人を超える聴覚障害者や関係者が全国から集まり、大成功に終わりました。しかし、残念なことに赤字が残ってしまいました。この赤字を埋めるため、楽しい企画を考えようと、当初１４人の聴覚障害者で立ち上げたチームです。（Ｆ・Ｋ・Ｄとは　Ｆｉｎａｎｃｉａｌ　Ｋｙｏｔｏ　Ｄｅａｆ　の略です）

京手連からは、３人が委員として加わり、共に活動をしています。当初、１，２００万円あった赤字も、残り２００万円を切りました。

今期の活動は、次のとおりです。

〇事務局会議　　９回開催

５月９日（木）、７月１１日（木）、８月８日（木）、９月１２日（木）、
１０月１０日（木）、１１月１４日（木）、１２月１２日（木）、
１月３１日（木）、２月２０日（木）

〇今後３年間で、バザー、公開講座、イベントなどを開催し、残り１７２万円を解消する。

〇今後の企画

２０２０年５月３１日（日）１３：４５～１６：００、京都アスニー
トークショー「ＫＡＴＵＤＯＵＳＨＡ ＯＦ ＫＹＯＴＯ伝説の武者と姫様」
パネリスト：小谷氏、川分氏、高田氏、片岡氏、竹谷氏、小山氏
参加費：１，０００円

※　案内ビラも配布しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期になりました。日程が決まり次第、お知らせいたしますので、ご協力よろしくお願いします。

（１５）京都さがの手話まつり

９月１日（日）に全国手話研修センターで開催された第１７回京都さがの手話まつりに、京都市手話学習会みみずくと合同で模擬店を出しました。今回も要員としてたくさんの方にご協力いただき、また食材等の寄付をいただいて経費削減できました。

内容：炊き込みご飯、お茶、生ビール、焼き鳥、コロッケ
会計報告：バザー売り上げはみみずく会と折半し、１０，９４２円を会計へ入れました。
その他：京手連として、２，５００円の広告協力をしました。

（１６）さがの映像祭

２月９日（日）、同志社大学寒梅館にて第１６回さがの映像祭が開催されました。当日は応募作品の上映の他、「東京オリンピック」を手話ナビゲーター２人が楽しく進行しながら上映されました。もう一つはデフリンピックを見たり体験する企画も行われました。

京手連としてはカフェ販売と受付、表彰式の要員を協力しました。

当日の参加者は３２０人でした。少しチケットの値段が上がったものの、電子チケットなど新しい試みをされ、参加者は減ることはありませんでした。たくさんの方の協力ありがとうございました。

（１７）鴨川納涼

○開催日　　８月３日（土）１７：００～２２：００
　　４日（日）１７：００～２１：００
○開催場所　鴨川三条大橋～四条大橋の右岸河川敷
○イベント内容
　ブース：河川美化・環境啓発エリア、伝統産業ＰＲエリア、府内市町村エリア、全国郷土エリア
　ステージ：中央ステージ、鴨川ふれあい空間ステージ
○京手連の協力
①「河川美化・環境啓発エリア」の手話体験コーナーで、聴障協の指導のお手伝いをしました。体験者数は３日４８人、４日３７人、計８５人。
②ステージイベントの両ステージで、舞台手話通訳を担当しました。要員数は３人。

夜になっても気温・湿度が下がらず大変でしたが、台風の影響か(？)風があり、少し救われました。要員の皆さん（みみずく会の方々)、暑さの中ご協力をありがとうございました。

（１８）全国ろうあ女性集会

第５０回を迎える「全国ろうあ女性集会」は、２０２０年１０月２３日（金）～２５日（日)、京都テルサで開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止になりました。第１回が京都で開催されてから５０年ぶりの開催でしたが、大変残念です。

今期の活動は、下記のとおりです。
○　実行委員会
　計８回。いずれも１３：００～、京都市聴言センター（３月２８日は亀岡市福祉センター)。
　５月２５日（土)、６月２２日（土)、７月２７日（土)、８月２４日（土)、１１月３０日（土)、１月１１日（土)、２月２２日（土)、３月２８日（土）
○　会場についての打ち合わせ
　３月１８日（水）１４：００～、みぶ身体障害者福祉会館
○　討議内容
　開催要綱とシンボルマークの決定、記念講演内容、交流会内容、記念グッズ

作成販売、社会見学コース決定、寄付広告等について。

○　視察

１０月２５日（金）～２７日（日）の沖縄大会に実行委員１０人参加し、会場の様子、手話通訳や要員配置、受付の様子などを視察。

今後、事後処理をしていきます。

（１９）近畿ろうあ者大会

○日　時　　１０月６日（日）　１０：００～１６：００
○会　場　　京都テルサ
○参加者　　約６００人
○内　容　　１部：式典、議事
　　２部：若草寮　太鼓
　　記念講演　なんもり法律事務所　南　和行　弁護士
　　「ＬＧＢＴのこと　そして人権」－誰もかも生きやすい社会へ
　　手話舞台「箱」　おてだま～ひとつ～
　　福引
○京手連から実行委員２名、当日要員協力

突然盲ろう者の人数が増えたり、京都市長が最後の方で来られたりバタバタして大変でしたが、みなさまのご協力で無事終わりました。

（２０）第２９回ろう教育近畿フォーラム in 京都

毎年、近畿６府県持ち回りで開催しており、第２９回目は京都で開催されました。

京手連からは、実行委員２人、要員（受付・案内・保育）４人が協力しました。

○日　時　　２月１日（土）１０：００～１６：３０（９：４５受付）
○会　場　　京都アスニー
○主　催　　近畿ろうあ連盟
○主　管　　第２９回ろう教育近畿フォーラム実行委員会
○内　容
　１０：００～１０：１０　　開会式
　１０：１０～１２：００　　講　演
　　講師：早瀬　憲太郎氏
　　テーマ：「ろう児の生きる力を育む」－乳幼児への絵本の読み聞かせの実践から－
　１２：００～１３：００　　休憩
　１３：００～１６：００　　分科会／報告会
　　第１分科会　　助言者：早瀬　憲太郎　氏

テーマ：保護者の情報保障、交流の場づくり
～より良い親子関係を築くため～
第２分科会　　助言者：酒井　弘　氏
テーマ：ろう学校づくり～教育現場から考える～
特別分科会　　助言者：内川　大輔　氏
テーマ：手話言語獲得の環境を整えるために
～乳児と保護者に対する早期支援～
１６：００～１６：１５　閉会式

○子供企画
１０：３０～　アスニー出発　デイサービス「にじ」施設があるところまでお兄ちゃんお姉ちゃんと歴史探索しながらウォーキング。
１２：００～　「にじ」利用者と昼食
１３：００～　近くの公園で「にじ」利用者と交流
１４：００～　公共交通でアスニーに戻る

（２１）地域の活動状況

① 北部ブロック

○北部のいきいき学ぼう会
両丹聴覚障害者協会と京手連北部ブロック（京都府北部ブロック手話サークル連絡会）の共催で、今期は５回開催しました。北部地域のろうあ者の仕事や暮らしを学べたり、いろんな方の手話表現に出会い、楽しめて、ためになって、かつ、地域を越えた交流も深められる会となりました。

日　程	会　　場	内　　容
６月２３日（日）	京丹後市聴覚言語障害センター	北部地域の手話講座の様子
８月２４日（土）	宮津市福祉・教育総合プラザ	手話入門ステップアップ学習会
９月８日（日）	舞鶴西駅交流センター	手話学習会
１２月７日（土）	綾部市保健福祉センター	手話の読み取りアップ学習会
３月３日（日）	市民交流プラザふくちやま	手話を学ぼう

○京都北部文化のつどい　１１月１０日（日）知遊館（与謝野町）
恒例の両丹手話劇コンクール・文化のつどいは、今期はお休みとなり、両丹聴障協主催の文化のつどいが開催され、北部各サークルも運営協力等を行いました。地元ろうあ者の寸劇やパフォーマンス、劇団あしたの会「そして祈りへ」のＤＶＤ上映、手話舞台「箱」の手話劇、と盛りだくさんのステージ

構成。笑いあり涙あり、聴覚障害の方等関係者が一緒に楽しみました。

○京都北部聴覚障害者の暮らしを考えるつどい　1月１１日（土）綾部市保健福祉センター
恒例で９月２３日に開催してきたこのつどいですが、今期は台風接近のため急遽延期となりました。参加者は１００人を越え、身動きできないくらいでしたが、最近の障害者を取り巻く状況についてしっかり学びました。

・講演「聴覚障害者の地域リハビリテーションを考える～完全参加と平等～」
立命館大学非常勤講師　柴田浩志氏
・地域の要望活動の報告（情報交換）　…綾部、福知山、舞鶴、京丹後、与謝宮津、ろう学校

○各サークルから

・綾部から：１１月２日から４日、「手話この魅力ある言葉～大槻小百合と綾部の仲間たち展」が開かれました。大槻小百合さんは、綾部出身の聴覚障害を持つ画家です。主催は綾部市内の聴覚障害者関係団体で作る「綾部ネットワーク」で、綾部手話サークル「あやとり」も実行委員会に入り、宣伝に、当日の要員にと全面的に協力。３日間で延べ９０３人もの来場者がありました。取り組みを通して、多くの方に感動をあたえるとともに、手話についての理解や「手話コミ条例」の普及につながりました。
・舞鶴から：昨期の聴覚障害者成人講座で、市内の小学生と交流したことをきっかけに、その子ども達が手話に興味、関心を持ち、４月から土曜日の昼サークルに参加するようになりました。月１回子ども手話の日とし、聴障者から手話を教えてもらい、サークル会員とも交流しています。今後も、月１回のペースで楽しく学び、楽しく交流していきたいと思っています。
・京丹後から：４月にスタートした京丹後市手話言語条例の気運を盛り上げようと、手話歌＆ダンスのステージ、手と手でつながる・広がる・笑顔「みんなでつくる夢のステージ」を企画し、聴覚障害の方など関係者と協力して準備を進めました。日程は２月２９日（土）とし会場も確保。スペシャルゲストには「ハンドサイン」を、地元からは児童合唱団やダンスグループ、そして来場者全員で歌う「１００人手話歌」を予定しました。ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の関係で不安の方も多くなり、中止としました。
しかし、１００人手話歌の練習会を３回開いて「パプリカ」の手話練習を重ね、これまで手話や聴覚障害者を身近にすることがなかった方にもたくさん参加いただき、理解が確実に広がっていることを感じることができました。

②　口丹ブロック

京手連加盟は相変わらず亀岡市の「四季の会」「年輪の会」の２サークルです。口丹手話サークル連絡会と合同で行事をと思いつつ、今期は何もできませんでした。耳の日集会の会議と準備で終わってしまった１年でした。

亀岡手話サークル「年輪の会」

毎週木曜日１９：００～２０：３０、亀岡市総合福祉センター内ボランティアルームで開催。参加者数はバラバラで、少ない時は３～４人、多い時は１５人くらい（稀ですが）の時もあります。学習部、交流部等分担はあるものの、毎回、フリートークに終始してしまいがちですが、サークルに来たからには必ず何か話してもらっています。ビギナーの会員さんはみんなでよってたかって、手話の指導をしています。今期は４０周年記念誌を５年遅れで４５周年記念誌として無事発行できました。秋には聴障協と４５周年記念旅行で小豆島へ行ってきました。

亀岡手話サークル　四季の会

会員数は３５人（聴障者９人、健聴２６人）、毎週水曜日１０：００～１２：００、亀岡市障害者支援センター「おむすび」で例会を開いています。

例会では毎月ミニ講演の会を設け、聴障者からアドバイスを得て手話技術の向上を目指しています。また屋外での例会もあります。今季は「ボーリング大会」と「ＪＲで琵琶湖一周」のレクリエーションで楽しく交流しました。

例会以外の主な活動は市内の小中学校の福祉体験で、聴覚障害の理解や手話を広める活動をしています。毎年恒例の口丹クリスマス会手話劇発表会は、２ヶ月前から練習を行い参加しています。亀岡市の「市民福祉のつどい」ではオープニングで手話歌を披露しています。

また講演会を企画し、サークル員の学習を深めています。今期は亀岡市の高齢聴障者７人の方々をお招きし、「生い立ち～生活　仕事　戦争について」では４人の方を講師に、「子育てについて」では３人の方を講師に、インタビュー形式での講演会を２回開催しました。

来期も聴障者から手話を学び、共に理解を深めて地域に広めていくことを目的に楽しく活動をしていきたいと思います。

③ 乙訓ブロック

向日市、長岡京市、大山崎町の２市１町を乙訓地域と言います。そこで活動している手話サークルでんでん虫が京手連に加盟しています。会員数は約１００人で、活動の場は、昼の部、夜の例会（各毎週水曜日）、山崎例会（毎月第２・第４水曜日夜）です。

向日市では２０１７年３月３日に「手話言語条例」が施行され、パンフレットの作成、配布、手話動画の配信など様々な取り組みが行われています。また、２０１８年度に漫画を作成。タイトルは、「ＨＥＬＬＯ　むこうの私―手で心をつないでー」です。この漫画本は市内の各学校（小学４年生～高校３年生）や関係機関に配布されました。

長岡京市では２０１８年４月１日に「障がい者基本条例」が施行され、さまざまな障がいの特性や、障がいのある人への配慮について学ぶ養成講座を開催されました。その中にミニ手話講座があります。その受講生は「あいサポーター」となり、困っている人の手助けをするという取り組みをしています。

今後も、市民の手話に対する理解と手話でのコミュニケーションを広めるために、ろうあ協会とともにサークルも協力していきたいと思います。

〇サークルの取り組み

- 例会、昼の部、山崎と毎回学習担当が内容を考え、サークル活動を行っています。ろう者２人の会話の読み取り、出前講座の手振り、クイズ、ゲームなど堅い内容の日もあれば笑いのある日もあり、楽しく学習しています。
- 毎年７月はビアパーティ、１２月はクリスマス会、２月はボウリング大会を開催し、ろうあ協会と交流を楽しんでいます。
- 新型コロナウイルス感染予防のため、３月はサークル、例会は中止となりました。

〇地域での取り組み

乙訓ではろう協会をはじめとして、障がい者団体との関係団体で構成する実行委員会にでんでん虫も加入しています。地域の中で共に以下の取り組みを行いました。

- 「向日市障がい者のスポーツのつどい」と「長岡京市障がい者スポーツフェスティバル」では要員として運営のお手伝いをしました。
- 「長岡京市障がい者児の人権を考える市民のひろば」では、手話コーラスや手話のあいさつなどを市民に広めました。

〇乙訓聴覚言語障害者ネットワーク委員会の取り組み

- 向日市まつりにバザーの出店をしました
- 毎年秋と春の２回、乙訓２市１町の行政と懇談会を開催し、サークルは記録を担当しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により３月の要望懇談会は中止となり、行政の文書による回答のみとなりました。
- ４月２８日（日）京都ろうあ者大会が長岡京市中央公民館で開催され、サークルは要員としてお手伝いをしました。

④　京都市内ブロック

●昼

「洛西手話サークル　たけのこ」

〇会員数：３１人（聴覚障害者６、難聴者３、聴者２２）

〇学習方法：２グループまたは、合同で実施。初心者グループの担当は、聴障者。

〇行事：講演会、市政出前トーク、社会見学、体操教室、クリスマス会、ごくろうさん会

〇機関紙：４回発行

〇要員協力：近畿ろう学生同窓会、手話サークル交流会、鴨川納涼、手話まつり、近畿ろうあ者大会、西京区防災訓練、けいわんフォーラム

〇病院手話学習交流会：月１回、サークル終了後に約１時間、行っています。対象は、例会場である洛西ニュータウン病院の職員。サークルからは２人が交代で担当しています。少数の集まりですが、聴覚障害者のメッセージを医療従事者に直接、届けられる等、貴重な場となっています。

〇まとめに変えて：”手話の花咲く洛西に”を掲げ、仲間と共に歩んでいます。最近では、メンバーのさまざまな事情で（会員自身の健康問題や介護を含む家族のケアなど)、サークルへの出席も低下傾向です。そのような状況でサークル内外の業務をこなすのは容易でないと感じています。２年後には、創立３０周年。それも視野に入れ、今後の”たけのこ”の方向性を検討することも大切なのではと思っています。

「手話サークル・サンシャイン」

１９８５年に創立して２０２０年には３５周年を迎えます。長くサークルを続けられているのは全員一人一人が協力し合って活動しているからだと思います。

現在サークルは３８人（うち聴覚障害者５人）の全員で、西京区の桂原ふれあいルーム絆で活動しています。

毎週火曜日１０：００から１２：００です。サークル員は全員代表、総務、会計の三役、学習部、交流部、機関紙部のどこかに所属してみんなで活動しています。

このような体制で、サークル会場での例会学習に加え社会見学として、春・秋に大人の遠足として嵯峨野の研修センターの見学と手話メイトさんとの交流、長岡京市辺りの歴史などを知る取り組みもありました。クリスマス会、お楽しみ会はゲームをしたり、０会員の日舞発表などもありました。西京区社会福祉協議会の活動ではボランティア連絡会があり、その組織を活用して西京区内の４サークルの連携をとっています。

１０月２７日（日）は西京区の防災訓練にも３人参加協力しました。月１回（第３火曜日）雑がみ回収も続けています。市からの補助金もあり、おかげでサークルの会計が助かっています。また、いこいの村の製品販売会、第２青空工房からのゴミ袋購入販売をサークルの例会で行い微力ですが京都聴覚言語障害福祉協会や仲間のみなさんへの協力も行っています。

「一人一人が力を合わせみんなで」を意識してのサークル活動の実践を通して共に支え合う地域作りに貢献できるよう今後もサークルみんなで取り組んでいきたいです。

「手話サークルあすなろ’８２」

〇プロフィール

１９８２年当時、西京極児童館に小さいお子さんとお母さんの幼児クラブ『カンガルークラブ』がありました。その中に聞こえないお母さんがいて、みんなで手話を覚え話しがしたいという思いから　この手話サークルが誕生しました。

○活動・行事

現在、会員数４４人（聴障７人、健聴３７人）です。

単語学習や手話スピーチ、テキストを使った学習、あすなろカフェ（みんなでワイワイ交流）など、各月の当番が中心に相談し、創意工夫した学習を行っています。また、年間行事として今期の講演会には、山中聡氏を講師にお招きし「武器としての手話」というテーマで講演いただきました。社会見学は、普段は公開されていない北区の櫻谷文庫へ出かけました。また、新型コロナウイルス感染症拡大で中止になった「耳の日記念集会」ですが、あすなろ’82 では、全員がチケットを購入することになっており、その意義についても学習する時間をもうけています。お楽しみ行事として歓迎会、新年会などや、児童館バザーへの参加も行っています。

○機関紙『あすなろ新聞』

毎月１回、新聞係が記事収集、編集を行い発行しています。現在までに３３６号の新聞が発行されました。新聞には、月の学習予定表、行事予定、行事参加の感想や間違い探し、編集後記、日常のお役立ち情報などのほっこりする記事もあり楽しい紙面です。このあすなろ新聞は、サークルの歩みでもあり誇りです。

○これからのあすなろ’82

地域の方との交流を大切にしており、児童館バザーへの出店、「おじいちゃんおばあちゃんとの交流会」で発表する子供たちの手話歌の指導協力をしています。学童クラブでは、毎月１回手話クラブがあり、子供たちは手話の指導を通して聞こえない人と交流し、楽しく手話を学んでいます。このように、出発点でもある児童館を通し地域とのつながりを大切に、地域に根ざした活動をこれからも続けていきたいと思っています

●夜

「京都市手話学習会『みみずく』」

京都市内１１行政区に各支部があり、１６例会場、会員数３３４人（３月４日現在）で活動しています。

今期は新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、予定していた行事を中止せざるを得なくなりました。３月に入り、政府の方針に従いサークルを休止にした支部も多く、会場が使用可能な間は続ける支部もありましたが、１週間に１度の大事な例会を休止するという辛い選択を強いられました。

○全体研修会

２月２２日（土）に全体研修会を開催しました。参加者は９７人（みみずく会員７５人、聴障者２２人）でした。事前に各例会場でサークルの活動、聴障協の活動、一緒にしていることなどについて話し合いました。それにより、自慢できることや不十分なこと、今後したいこと、聴障者がサークルに望むことなどを確認できました。また各例会場で壁新聞を作り、当日展示し、それぞれのブースで説明、質疑応答をしました。今まで見えなかった他の例会の様子を知ることができました。

午後は「午前の内容」や、「サイコロで出たテーマ（さいころに話すテーマを記入しておく）」について、手話・身振りで話し合いました。
聴障者の思いを受け止めてサークルの行事を考えること、また、手話教室や防災の取り組みなど社会福祉協議会との連携も大事だと確認しました。

〇支部交流会（２月２６日）、京の手話体感学習会（３月１５日）は新型コロナウィルス感染症拡大の影響で開催できませんでした。

〇京都市聴覚障害者協会との懇談会
今期は３回開催し、情報交換、意見交換しました。互いに協力して活動していきたいと思います。

〇京都市手話通訳制度委員会
京都市聴覚障害者協会、京都市聴言センター、京都手話通訳問題研究会市内班、みみずく会の４団体で４ヶ月に一度会議を開き、それぞれの取り組みについて報告、意見交換し、課題について話し合いました。

〇京都市手話言語条例懇話会
「京都市手話言語がつなぐ心豊かな共生社会を目指す条例」成立後、条例推進方針等に係る懇話会がもたれています。関係団体、学識経験者等の委員で構成されています。今期は１月１７日、２月２８日に開かれ、第２期推進方針についての説明がありました。

〇手話サークルまつりに参加。バザー出店、舞台発表などの協力をしました。

〇京都市聴覚障害者協会高齢部のバスツアー通訳、講演会記録の協力をしました。

手話サークル「伏水」
酒処の伏見で、毎週金曜日（１９：００～２１：００）に伏見区役所会議室において聴障協伏見支部のみなさんから学習指導を受け、活動しています。
規模は、老若男女女女・・・２６人（女性１８人、男性８人）と小さいながらも、やさしくて、あたたかな雰囲気が自慢のサークルです。
今期は、聴障協伏見支部をはじめ、みなさんのご協力により、創立１０周年を迎えることができました。たくさんの方にお越しいただき、これまでの１０年を振り返りつつ、これからの１０年を目指す記念行事を盛況に開催することができました。

④　山城ブロック

山城地域で１２の手話サークルが京手連に加盟しています。
ｉ）　各サークルの交流を目的に、９月２２日「山城ブロック会議」を開催しま

した。

各サークルからは、「例会に参加者が少ない」「ろう者の参加が少ない」「(時には）会員とろう者のマンツーマンの状況になることも」「手話技術レベルがばらばらで学習の方法に工夫が必要」と言う悩みや意見が出されたり、「指文字でしりとりをしている」や「レベル別部グループを作っている」等の経験の交流など有意義な会議になりました。

ⅱ） 山城地域三団体（ろう協、京通研、京手連）学習交流集会を１１月２４日（日）に開催しました。

テーマは、「山城のろう者の暮らしは、今、昔、これから・・・「居場所つくり」の取り組み　山城のろう者との交流から手話を学ぼう」。山城地域でろう協と手話サークルが共に運動を作り制度を作っていった歴史を学び、これからの方向を確認し合う交流会となりました。

ⅲ） 第５０回山城ろうあ者新年大会＆手話劇コンクール

１月１２日（日）宇治市文化センターで開催。４００人の参加。手話劇コンクールでは久々に城久支部（めだかサークル、てまりサークル）が優勝しました。

ⅳ）山城統一要望キャラバン（１１月２７日）

山城地域の全市町村（５市６町１村）に統一要望書を提出しました（各議会と２保健所、府庁、府議会にも報告)。統一要望書（ところによっては独自要望も）を提出し、その後懇談会を開催する予定でしたが、２月６日に城陽市との懇談会は開催できたものの、その他の市町村は、新型コロナウィルス感染症拡大のため、まだ懇談会が開けていない状況で、来期への持ち越しとなっています。

♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦ 2019年度活動日誌 ♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦

●４月

１０日（水）　京都市内のサークル間交流　打ち合わせ
２１日（日）　京通研総会
２６日（金）　府ネット災害対策会議
２８日（日）　京都ろうあ者大会
２９日（月・祝）　近畿ろう学生懇談会創立60周年記念集会

●５月

８日（火）　京都さがの手話まつり実行委員会
９日（木）　Ｆチーム事務局会議
１１日（土）　近畿三団体会議
　　法人後援会幹事会
１３日（月）　近畿ろうあ者大会事務局会議
　　けいわんフォーラム会議
１６日（木）　さがの映像祭実行委員会
１７日（金）　全国手話検定京都地域試験委員会
１８日（土）　近畿ろうあ者大会実行委員会
１９日（日）　京都府手話サークル連絡会総会、役員会
２２日（水）　京都市内のサークル間交流　打ち合わせ
２４日（金）　府ネットワーク委員会
２５日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会

●６月

１日（土）　酒井先生ありがとう・芦田先生よろしくの会
２日（日）　法人後援会総会、レインボーまつり
３日（月）　京手連　若者連絡会
　　京都さがの手話まつり実行委員会
　　近畿ろうあ者大会２０１９事務局会議
８日（土）　近畿手話サークル連絡会　総会
１７日（月）　参政権保障委員会
２１日（金）　府ネットワーク委員会　事務局会議
２２日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会
　　近畿ろうあ者大会実行委員会
２５日（火）　京都さがの手話まつり実行委員会
２６日（水）　けいわんフォーラム会議
　　全国手話検定試験・集団受験
３０日（日）　京都市くらし集会
　　参政権保障委員会

●７月

１日（月）　京都市内サークル交流会実行委員会
５日（金）　近畿ろうあ者大会２０１９事務局会議
６日（土）　近畿三団体会議
８日（月）　手話検定京都地域試験委員会
１０日（水）　手話フェスティバル実行委員会
１１日（木）　Ｆチーム事務局会議
１７日（水）　京都市内サークル交流会実行委員会
１９日（金）　府ネットワーク委員会　事務局会議
２０日（土）　京都市内のサークル間交流
　　近畿ろうあ者大会実行委員会
２１日（日）　手話検定面接委員研修

２５日（火）　京都さがの手話まつり実行委員会
けいわんフォーラム実行委員会
２６日（金）　府ネット総会
手話検定（集団受験、京都医療専門学校）
２７日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会
手話検定（集団受験、龍谷大学深草キャンパス）

●８月

２日（金）　近畿ろうあ者大会２０１９事務局会議
３・４日（土・日）　鴨川納涼
１６日（金）　大文字を観る会
１７日（土）　近畿ろうあ者大会実行委員会
１９日（月）　参政権保障委員会　反省会
京都さがの手話まつり実行委員会
２１日（水）　手話フェスティバル実行委員会
２３日（金）　府ネットワーク委員会　事務局会議
府ネット　災害対策委員会
手話検定京都地域試験委員会
U35 三団体交流企画「ビアガーデン」
２４日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会
３０日（金）　けいわんフォーラム実行委員会
３１日（日）　Ｆチーム　「ゆずり葉」「段また段を成して」上映会

●９月

１日（日）　京都さがの手話まつり
６日（金）　近畿ろうあ者大会２０１９事務局会議
７日（土）　全国手話検定試験代表者会議
京手連　役員会
９日（月）　京手連　若者連絡会
１２日（木）　Ｆチーム事務局会議
１４日（土）　法人後援会幹事会
１５日（日）　近畿ろうあ者大会２０１９　要員決起集会
１６日（祝）　手話検定受験者のための学習セミナー
１８日（水）　さがの映像祭実行委員会
２０日（金）　府ネットワーク委員会　事務局会議
２３日（月・祝）　近畿ろうあ者大会２０１９　会場下見
２７日（金）　府ネットワーク委員会
２８日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会
３０日（月）　近畿ろうあ者大会２０１９事務局会議

●１０月

４日（金）　近畿ろうあ者大会２０１９事務局会議準備
５日（土）　近畿ろうあ者大会２０１９準備
６日（日）　近畿ろうあ者大会２０１９
７日（月）　手話検定京都地域試験委員会　準備作業
１０日（木）　Ｆチーム事務局会議
１１日（金）　近畿ろうあ者大会２０１９事務局会議
１２日（土）　全国手話検定試験　５級・４級
１３日（日）　全国手話検定試験　３級・２級
１８日（金）　けいわんフォーラム実行委員会
府ネットワーク委員会　事務局会議
１９日（土）　全国手話検定試験　準１級・１級
ほほえみ広場
２０日（日）　いこいの村まつり
２５日（金）　府ネット　災害対策委員会

２５～２７日　全国ろうあ女性集会沖縄集会視察
２８日（月）　京都市内サークル交流会　実行委員会

●１１月

３日（日）　近畿三団体会議
近畿けいわんフォーラム in 京都
４日（月・祝）　京都市内ブロック「サークルまつり」
１４日（木）　Ｆチーム事務局会議
１５日（金）　府ネットワーク委員会　事務局会議
１６・１７日（土・日）　全国聴覚障害者福祉研究交流集会
１８日（月）　手話フェスティバル実行委員会
２２日（金）　府ネットワーク委員会
２４日（日）　京都手話劇コンクール
２５日（月）　京都市内サークル交流会　実行委員会
３０日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会

●１２月

１日（日）　京手連　役員会
２日（月）　京手連　若者連絡会
７日（土）　手話通訳者全国統一試験
８日（日）　聴言センターまつり
１０日（火）　さがの映像祭実行委員会
１４・１５日（土・日）　近畿手話通訳問題研究討論集会
２０日（金）　U35 三団体交流企画「忘年会」
府ネット　災害対策委員会　事務局会議
２１日（土）　スピーチコンテスト事前審査
近畿ろうあ者大会２０１９　実行委員会（反省会）

●1月

９日（金）　Ｆチーム事務局会議
１１日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会
１２日（日）　山城新年大会
１３日（祝）　京都市新年大会
１７日（金）　府ネット　事務局会議
１９日（日）　京都手話フェスティバル
２４日（金）　府ネットワーク委員会、災害対策委員会
３０日（木）　手話検定京都地域試験委員会

●2月

１日（土）　ろう教育近畿フォーラム in 京都
８日（土）　法人後援会幹事会
９日（日）　さがの映像祭
１１日（火・祝）　京都市内サークル交流会
１３日（木）　全国手話検定試験（団体受験、いこいの村）
１６日（日）　全国手話検定試験（台風のため中止・欠席者対応）
１７日（月）　手話フェスティバル実行委員会
２０日（月）　Ｆチーム事務局会議
２１日（金）　府ネットワーク委員会事務局会議、災害対策委員会事務局会議
２２日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会
２３日（日）　前田定幸さんを偲ぶ会・献花式
２４日（月・祝）　京手連役員会
２８日（金）　府ネット災害対策委員会

●3月

１日（日）　耳の日記念集会（中止）
２日（月）　京手連　若者連絡会（中止）
１３日（金）　府ネット事務局会議

１８日（水）　全国ろうあ女性集会会場打ち合わせ
２６日（木）　全国手話検定京都地域試験委員会
２７日（金）　府ネットワーク委員会
２８日（土）　全国ろうあ女性集会実行委員会
２９日（日）　第29回近畿手話サークルフォーラム（兵庫）（中止

■２０２０年 度　 活 動 方 針 案

１　京都府内の手話サークル活動を支援し、サークル間の交流を深めます。

２　聴覚障害者の情報・コミュニケーションを保障する新たな法制度の確立等、様々な制度の前進のために関係団体と連携しながら取り組んでいきます。

３　「京都聴覚言語障害者の豊かなくらしを築くネットワーク委員会（略称：府ネット）」　に引き続き結集し、関係団体との連携をより強化しながら京都の運動発展のために取り組みます。

４　災害時対策や手話言語条例に関わる取り組みの推進等、聴覚障害者協会とともに取り組みを進めます。

５　加盟各サークルの連携と交流をより密にするため、各ブロックの取り組みを強化します。また、運動が大きな力となるためにも未加入のサークルに京手連への加盟を呼びかけます。

６　各サークルへの情報提供、意見交換の場として機関紙を引き続き発行します

７　「４０周年記念誌」の普及に取り組みます。

2019年度一般会計決算書

《収入の部》　（円）

項　目	予算額	決算額	内　訳
繰越金	456,390	456,390	前期繰越
分担金	81,500	78,000	(@1500×4)+(@3000×22)+(@6000x1)
助成金	90,000	90,000	京都府より助成金
雑収入	100,000	76,692	審査員、委員会出席等謝礼金及び交通費、DVD売上他
合　計	727,890	701,082	

《支出の部》　（円）

項　目	予算額	決算額	内　訳
事業費	52,000	107,544	総会経費、機関紙印刷、コピー代等
活動費	100,000	90,560	役員派遣、各会議への交通費等
負担金	0	0	
通信費	9,000	8,434	郵送代等
消耗品費	7,000	978	事務用品代等
寄付広告費	30,000	6,000	近畿ろうあ者大会・全国ろうあ女性集会広告費
雑費	15,000	17,926	さがの映画祭等珈琲販売の材料費、前田定幸さんを忍ぶ会献花代
予備費	514,890	0	
合　計	727,890	231,442	

収入合計	支出合計	次期繰越金
701,082	231,442	469,640

以上の通り、相違ございません。

2020年4月19日

会　計　山本よしみ

会計監査　大宮洋子

2019年度特別会計決算書

【書籍販売・その他】

《収入の部》 (円)

摘　要	金　額	内　訳
繰　越　金	566,800	前期繰越
書籍売上	0	
記念誌売上	2,800	40ｔｈ記念誌
利　　息	6	銀行利息
雑　収　入	0	
合　　計	569,606	

《支出の部》 (円)

摘　要	金　額	内　訳
	0	
合　　計	0	

収入合計	支出合計	次期繰越金
569,606	0	569,606

以上の通り、相違ございません。

2020年4月19日

会　　計　山本よしみ

会計監査　大宮洋子

会計監査報告

京都府手話サークル連絡会２０１９年度会計報告に関する下記の書類に表示せられるものを監査の結果、当年度における運営状況、全ての財源、及び使途を正当に示すものであり、正確なることを認めます。

１．　２０１９年度一般会計決算書

２．　２０１９年度特別会計決算書

（２０１９年4月1日～２０２０年3月３１日）

2020 年 4 月 19 日

会計監査　大宮洋子　㊞

2020年度一般会計予算(案)

《収入の部》 (円)

項　目	前年度決算額	予 算 額	内　　訳
繰 越 金	456,390	469,640	前期繰越
分 担 金	78,000	79,500	(@1500×5)+(@3000×22)+(@6000×1)
助 成 金	90,000	90,000	京都府より助成金
雑 収 入	76,692	74,000	審査員謝礼他
合　計	701,082	713,140	

《支出の部》 (円)

項　目	前年度決算額	予算額	内　　訳
事 業 費	107,544	110,000	総会経費・機関紙印刷・コピー代他
活 動 費	90,560	90,000	役員会・役員派遣、各会議交通費他
負 担 金	0	0	
通 信 費	8,434	9,000	郵送料等
消耗品費	978	5,000	事務用品代等
寄付広告費	6,000	30,000	寄付・お祝い金・行事広告費
雑　　費	17,926	15,000	DVD製作費・出店費用他
予 備 費	0	454,140	
繰 越 金	469,640	0	
合　計	701,082	713,140	

2020年度特別会計予算（案）

【書籍販売・その他】

《収入の部》 （円）

摘　要	金　額	内　訳
繰越金	569,606	前期繰越
記念誌売上	1,000	40ｔｈ記念誌
利　息	6	銀行利息
合　計	570,612	

《支出の部》 （円）

摘　要	金　額	内　訳
	0	
合　計	0	

収入合計	支出合計
570,612	0

■２０１９年　度　役　員　体　制

○　会　　長　　永浜　治夫

○　副 会 長　　山﨑　玲子、徳永　泰子、中瀬　陽子

○　北部ブロック長　　永浜　治夫

○　口丹ブロック長　　小西　真樹

○　乙訓ブロック長　　中瀬　陽子

○　京都市内ブロック長　山本 よしみ（昼）、仲松　大樹（夜）

○　山城ブロック長　　加藤　勝

○　事務局長　　高瀬　るみ子

○　事務局次長　　仲松　大樹

○　会　　計　　山本　よしみ

○　理　　事　　久保村　利恵子、佐伯　めぐみ、中筋　郁子、
那須　弘子、山岸　登美子、山口　都子
山﨑　邦夫、渡辺　久美、各ブロック長

■２０２０年　度　役　員　体　制

○　会　　長

○　副 会 長

○　北部ブロック長

○　口丹ブロック長

○　乙訓ブロック長

○　京都市内ブロック長

○　山城ブロック長

○　事務局長

○　事務局次長

○　会　　計

○　理　　事

■京都府手話サークル連絡会規約

第一条（名称）
　本会の名称は「京都府手話サークル連絡会」と称する。（略称「京手連」）

第二条（目的）
　本会は手話を通じて、聴覚障害者に関する諸問題を学び、聴覚障害者の生活と権利を守るという理念のもとに、京都府聴覚障害者協会と連帯し、京都府内の各手話サークル間の交流をはかり、より一層の各手話サークルの充実をめざすことをもって目的とする。

第三条（会員の資格）
　１．　本会は京都府内の各手話サークルを会員として組織する。
　２．　本会への加盟については、第二条の目的に賛同した手話サークルであり、役員会の承認を必要とする。

第四条（事業）
　本会は、次の事業を行う。
　１．　手話サークルの向上、発展をはかるために必要な事業。
　２．　京都府聴覚障害者協会が行う事業への協力。
　３．　その他、目的達成のために必要な事業。

第五条（役員）
　本会には、次の役員をおき運営にあたる。
　会　　長　　１名
　副　会　長　　若干名
　ブロック長　　若干名
　　（北部、口丹、乙訓、山城、京都市内の各ブロックより選出する）
　事 務 局 長　　１名
　事務局次長　　１名
　会　　計　　１名
　理　　事　　１０名以内

第六条（運営）
　１．　総会は会員の過半数の参加でもって成立し、年１回以上開く。
　　（ただし、代議員は各サークル２名とする。）
　２．　総会においては、次のことを行う。
　　役員の選出、規約の制定及び改廃、事業計画、予算及び決算、その他役員会で必要と認めたこと。

３．　役員会は第五条の役員でもって構成し、年２回以上開く。
４．　総会及び役員会は会長が招集し、それぞれのオブザーバー参加は会長の承認を必要とする。
５．　副会長及びブロック長は、各ブロックのサークル代表を招集し、ブロック会議を開くことができる。

第七条（財政）
１．　本会の運営経費は、各サークル分担金その他でまかなう。
２．　各サークル分担金は、総会で年度毎に決定する。
３．　本会の会計年度は、毎年４月１日より翌年３月３１日までとする。

第八条（規約の改廃）
規約の制定及び改廃は総会において出席者の全会一致をもって行う。

附則　・この規約は１９７６年2月１日より施行する。
・１９９４年5月２９日一部改正（第二条、第四条）
・１９９５年6月４日一部改正（第五条）
・２００６年6月４日一部改正（第五条）
・２０１０年5月３０日一部改正(第五条)
・２０１７年5月２１日一部改正(第五条)